

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選		授業担当者 Instructor
経営学総論	共通	1年生・後期	2単位	経営 必修	NW 選択	丑山 優
履修の前提条件	経営学入門を単位取得していることが望ましい					
授業概要 (Course Outline)						
経営学入門で理解したことを基礎に、より理解を深めるために現実の企業経営政策・経営現象について説明する。具体的には、現代企業の典型としての株式会社の組織形態、所有形態、意思決定のプロセス、ガバナンスの持っている意味の解説を行う。次に「利益」概念についての歴史的変遷、測定、および「経営理念」の解釈、経営戦略の策定について。次に経営資源とはどのようなものか、それらをどのように使って「マネジメント」するかを講義する。						
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)						
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture					
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature					○
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening					
	数量的スキル Mathematics					
	情報リテラシー Information Literacy					
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking					○
	問題解決力 Problem Solving					○
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy					
	自己管理能力 Self-management					
	チームワーク Teamwork					
	リーダーシップ Leadership					
	倫理観 Ethical Sense					○
	市民としての社会的責任 Social Responsibility					○
生涯学習力 Lifelong Learning					○	
到達目標 (Objectives)						
現代企業の典型としての株式会社の組織構造・機能および決定方法の理解。「利益」について現代社会でのコンセンサスは何かを理解。「経営理念」、「経営戦略」と「経営資源」、「変化する環境」とがどのように関係しているかの理解。「マネジメント」はどのようなものかの理解。						
事前学習の内容	予め講義する箇所について読んでおくこと					
事後学習の内容	講義について理解したこと、理解できなかったことを簡単にレポートで提出					
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)						
講義後において、その都度講義内容の理解した点、疑問点、各自の考え方を簡単にレポートを作成し提出。1コマを使って図書館でテーマを絞って各自で文献で調べる。						
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)						
オフィスアワーの時間に研究室にて随時受け付けるが、出来れば前もってメールで予約を入れるのが望ましい。メールアドレスは、講義開始時に知らせる						
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について						
外部試験は適切なものがないので、成績評価には入れない。成績については、定期試験の他、レポートの内容、提出した回数、およびディスカッションなどを考慮して総合的に評価して行う。ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入し最終講義時に提出して下さい。						

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	後期における授業における方針、各章の「まとめ」の記入方法などを説明		
第2回	株式会社の特徴、「所有権」についての法的・経済的理解		
第3回	会社の意思決定・執行の仕組み		
第4回	社会的「公器」と、CSR		
第5回	狭義の「ガバナンス」と広義の「ガバナンス」		
第6回	「利益」にまつわる歴史的なイメージと、「企業像」と「経営者モデル」の転換		
第7回	「利益」の測定方法、報酬としての利益概念		
第8回	ステークホルダーとCSRの関係		
第9回	経営理念、経営戦略の関係		
第10回	「経営資源」の解釈		
第11回	経営資源の重点変化と社会生活の関係		
第12回	テーマを絞って、図書館で各自文献で調べる。ディスカッションを行う。		
第13回	「マネジメント」の意味と具体化		
第14回	「分業」、ライン組織とスタッフ組織、ファンクショナル組織		
第15回	事業部制と、カンパニー組織、IT化とネットワーク型組織、質問受け		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『経営学入門』	片岡信之 他	文真堂ブックス	978-4-8309-4608-0
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『金融ヘゲモニーとコーポレート・ガバナンス』	丑山 優 他	税務経理協会	
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期期末試験、レポートの内容、レポート提出回数、ディスカッションなどを勘案して総合的に評価する。			